

平成 26 年 9 月 26 日

# 南 の 風 7 9

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

78号についての反響がありましたので、紹介します。ミニバス関係の方からでした。2点ありました。1点目はC氏の意見についての私のコメントの部分です。「1～3Qまでは〇〇チームは10点リードです。細かい点数の推移はわかりませんが（ここはまちがいで、推移はわかりませんがではなく、書きませんがとなります。）流れとしては悪くなかったはずです。」と書きました。しかし、ご意見を寄せていただいた方は、「1～3Qまでの得点の流れが悪かったかもしれないのではないかな。もう少し点数が取れたのではないかな。それが4Qまでつながったのでは。」というのです。なるほどと思いました。1試合全体の流れを見ないとわからないことが多いことはあります。4Qだけでは論じられないといえますね。納得です。ご示唆いただきありがとうございます。

2点目は、「しっかりオフェンスができないため、ディフェンスも頑張れない、というのはどういうことでしょうか。もう少し教えていただきたい」というものでした。

書いてみます。通常バスケットボールという競技は、オフェンスとディフェンスの機会が交互にやってきます。つまり、理論的にはお互いの攻防の回数は同じということです。しかし、ミス（ターンオーバー）があると得点する機会を無くしていきます。シュートでオフェンスが終わればまだしも、ファールやバイオレーションでボールを失うと選手のモチベーションは下がります。紹介したゲームは、〇〇チームは4Q得点が0でした。4Qの流れをみると、得点が取れないままディフェンスの時間が増えました。これは想像ですが、どうしてもディフェンスの時の集中力が低下したと思われるます。しかもゾーンだったためによけい、足が止まったのではないのでしょうか。ゾーンはご承知のようにエリアを守ります。マンツーマンよりは集中力が低下しがちになります。オフェンスがしっかりでき、何点か得点できれば、状況は一変したかもしれません。オフェンスとディフェンスは、常に一対のものです。どうでしょう。お分かりいただけただけでしょうか。

お二人の方、ご意見ご質問ありがとうございます。熱心な読者が多いことに感謝しますと共に、びっくりしています。

さて、南部の最終日も無事に終了致しました。役員、保護者会並びに関係者の皆様、大変お疲れ様でした。結果を紹介します。（詳しくは南部のホームページをご覧ください。）

## 《男 子》

優 勝	洋光台
準優勝	石 川
3 位	六ッ川
4 位	六浦南
5 位	西 柴

## 《女 子》

優 勝	藤の木
準優勝	六ッ川
3 位	六浦南
4 位	洋光台

優勝した、男子洋光台、女子藤の木チームの皆さんおめでとうございませす。また、市大会に出場する男子5チーム、女子4チームの皆さん、市大会での活躍を心よりお祈りいたします。